

欠陥機オスプレイ撤去を

米軍横田基地(東京都)に配備だ。

な欠陥が露呈。構造的欠陥機

オスプレイ墜落を受け、コメントを発表する玉城デニー知事=29日、沖縄県庁

プレイ部隊は、離島納基地（沖縄県）を拠点とする第203特種作戦群の傘下にあるとして、訓練のため、鹿児島沖を経由して頻繁に沖縄に飛来しています。防衛省沖縄防衛局の目視調査によれば、

米艦は巡洋艦、海軍、海兵隊に不
スアレイを配備していますが、開
発段階からの墜落事故が相次ぎ、米
国内でも警戒配備そのものに疑問
の声が相次いでいました。最近では、
は、22年に2機、今年8月に1
機、ついで今回の一機が墜落。開

最大の欠陥は、エンジンが停止しても完全に機能する「自動回転」(オートロードーション)機能がないことです。今回のOY22の発動機はエンジントラブルの可能性が想定されており、同機能の欠陥が

（連載）「アサヒ」11月20日
所屬のC-22オペレーターが鹿児島県の薩
久島沖で墜落したのを受け、「（薩王丸）」
も日本政府を通りて米側に「事故原因が
究明されるまでの間は、海上隊の所属機
も含め米軍のオスプレイの飛行停止を求
める」とするコマントを発表しました。
県内での記者団の取材に応じたトト
一知事は、機乗員全員が無事に救出され

52回が確認されております。今回の事故を除いて累計で5人。戦闘では墜落事故が、その過程で発生したばかり、すべて事故死という異常な死の件数。○→22件いたがで
も綾田一井機関を飛ばせる整、題
民航空の善美大蔵などに緊急連絡
を繰り返しておこなった。

日本はお隣時代より、米軍との連携を確立しておらず、配備されており、米国以外で最多です。カブアレイの安全性をめぐら
っては各地で不安の声が繰り返し上がっていますが、日本政府は依然として

れど、川越線（高森町）では、この止みどり用にドリルでも螺旋式飛来し、螺旋を繰り返すと特徴性といふべきか、今回のトヨタ車の飛行ルートは事故原因となるHンシットリを使用し、仙台港やU形切妻など、螺旋を繰り返すと螺旋形の飛行ルートとなつた。

航空機への「爆撃機アドバイス」の配備を推進し、米軍オスプレイも「抑止力」などして、航空機運送の超低空飛行をはじめとした横暴な飛行を野放しにしてしまった。

オスプレイの最近の主な墜落事故	
2010年4月	アフガニスタン（4人死亡）
2012年4月	モロッコ（4人死傷）
6月	米フロリダ州（5人負傷）
15年5月	米ハワイ州（2人死亡）
16年12月	沖縄県名護市浅瀬（2人負傷）
17年8月	オーストラリア沖（3人死亡）
22年3月	ノルウェー（4人死亡）
6月	米カリフォルニア州（4人死亡）
23年8月	オーストラリア北部（3人死亡）
23年11月	鹿児島・屋久島沖(安否状況不明)

■は米空軍CV22、それ以外は米海
兵隊MV22

しかし、これだけの事故が続いたため、オペレーターが機種的欠陥機であることは誰の目にも明らかになつた。事故原因が明らかにならぬまでも、飛機飛行停止は間違ひもない。無論オペレーターはすべて、日本からの撤去すべれど、

デニー沖縄知事が会見 原因究明まで飛行停止求める

所^在する米軍普天間基地（宮野瀬市）所屬のオスプレイなれば、機体を運用する際、住民に対する飛行を避けられない」と強調。「（墜落などの）被害の恐れを米軍が真剣に警戒、食い止めようとするならば、ただちにオスプレイの配備を中止し、米本国もしくは、広大な田園の事業に何ら影響がない場所での運用を中心掛けるべきだと申し上げなければならぬ」と語りました。